

八丈島 水産だより 6月号 2025年



八丈島の出展ブース



島じまん2025の様子

5月24日・25日の2日間、東京都港区の竹芝桟橋周辺で、伊豆諸島・小笠原諸島のお祭り、

東京愛らんどフェア「島じまん2025」が開催されました！

当日は天気が心配されましたが、非常にたくさんの人が訪れ、郷土料理やステージイベント等を楽しむ姿が見られました。八丈島の出展ブースでは、今年も八丈島漁協女性部が島ずしを販売し、行列が出来るほど多くの人が八丈島の名物を堪能していました。

■ 最近の漁模様

ハマトビウオ漁獲量の推移

ハマトビウオ（春トビ）漁に、春トビより小さい夏トビが混ざるようになり、今年のハマトビウオ漁は終りました。近年ハマトビウオの漁獲量は減少傾向にあり、今季の漁獲量は前年よりも減少となりました。なお、一般的に春トビはハマトビウオの1種類を指しますが、夏トビは夏の時期に出回る数種類のトビウオ類を指して呼ばれることがあります。



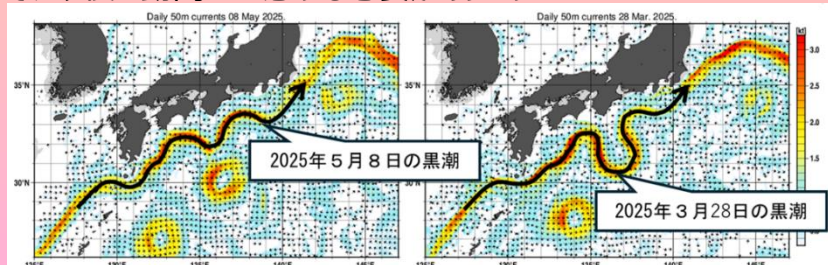
ハマトビウオ（春トビ）

■ 7年9か月続いた黒潮大蛇行が終息する兆し

5月9日、気象庁は2017年8月から続いていた黒潮の大蛇行が見られなくなり、この状態が持続して大蛇行が終息する兆しがあると発表しました。黒潮の流路は、船舶の運航や、魚種・漁場の位置、沿岸の海洋環境等にも影響を与えますので、今後の動向に注意する必要があります。

※黒潮大蛇行とは？

黒潮が潮岬で離岸した状態で安定し、かつ東海沖で北緯32度より南に位置している状態



出典：気象庁ホームページ (https://www.jma.go.jp/jma/press/2505/09a/press_kuroshio_path.html)

